



せい らん 青 藍

瀬戸内町立篠川小中学校
令和2年6月11日発行

校訓 ～明るく 正しく たくましく～
～ 自律和親 ～

6月号



「し」「の」「か」「わ」を意識して

校長 中原 誠

デイゴの色鮮やかな赤い花が映え、川辺ではアカショウビンが営巣しているのか、縄張りを誇張するかのよう鳴いています。本格的な「流し」の時期に入ったように思えます。字のごとく、梅の実が黄色く色づく時期の雨の梅雨ですが、黴（かび）が着きやすい時期の雨で黴雨（ばいう）、麦の実る頃に由来する麦雨（ばくう）等諸説様々な別名があるようです。ちなみに普段の倍、雨が降るから「倍雨」というのはこじつけらしいです。

保護者、地域の皆様方、今日も一日お仕事お疲れ様でした。ご苦労様です。日頃から登下校等子ども達への声かけや見届け、優しい眼差し等いつもありがとうございます。

さて、5月25日を以て、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言が全面解除されました。とりあえず、日常の生活は戻りつつあるものの、目に見えないウイルスという恐怖は未だに存在します。怖いのは一気に緩み、人の移動や行き来から再びクラスターが発生するのではないかと心配です。改めて自身の良識ある行動が問われそうです。現に第2波の入り口と言われる地域もあるようです。ワクチンの開発や臨床試験にも時間を有するとか、これからはwithコロナで「新しい生活様式」が叫ばれそうです。

学校の方は5月7日からの登校で、再び子どもの賑やかな声が校舎やグラウンドから響き、「当たり前、いつもの学校」に戻りつつあります。以前勤務した地区で、雨の日はもちろん、晴天の日も保護者が車で正門近くまで送ってくる光景があり「歩育」について話題になったことがありました。それを思い出し、篠川の子は偉いな！雨の日もちゃんと傘をさし、カップを着て、自らの足で登校して来ると、感心することです。また、今年は中学生は浅川ひよりさん一人ですが、新たな地で一人という寂しさやプレッシャーもあると思いますが、様々な経験が「自信」と「成長」につながり、「さすが中学生！」と周囲の賞賛につながると思います。中学部の先生方3名の愛情を受け、授業等「自己を最大に伸ばす場」になると思います。ひよりさん、頑張っってね！

さあ、暦は6月、1学期も折り返し、授業も軌道に乗って来ました。上記、「し」「の」「か」「わ」は各教室の前に貼ってある子ども達が授業を受けるに当たっての共通実践事項です。「し」は、質問を一つすることができた。「の」は、ノートをしっかりとることができた。「か」は、じっくり考えたことを発表することができた。「わ」は、わかったこと、わからなかったことを振り返ることができた、という意味です。この「し」「の」「か」「わ」を意識して、子ども達が主体的に学べるよう日々先生方も見届けています。今週は人権週間でした。困っている人がいれば、「どうしたの？何かあったの？」と優しい言葉がかけられるのが篠川の子だと思います。花が咲き、歌声が響き「知・徳・体」が成長する場に相応しい落ち着いた校風になるよう、教職員一同改めて頑張っっていこうと思う次第です。